



2015年4月28日

技術研究組合制御システムセキュリティセンター
CSSC 認証ラボラトリー

EDSA 認証対象機器の拡大について

技術研究組合制御システムセキュリティセンター CSSC 認証ラボラトリーは認証の対象の拡大を狙い、ISCI に ISASecure EDSA 認証プログラムの要求事項の解釈見直しを依頼しました。その結果、以下の条件のもとで試験を実施し、認証を行うことができるようになりました。

	必須機能	評価対象タイプ
(1)	プロセス制御/安全ループ (process control/safety loop)	A
(2)	プロセスビュー (process view)	A
(3)	コマンド (command)	A
(4)	プロセスアラーム (process alarms)	A
(5)	ピアツーピア制御通信 (peer-to-peer control communication)	B
(6)	必須履歴データの提供 (provide essential history data)	B

評価対象タイプ A :

該当する機能を評価対象機器がサポートしている場合には、CRT 試験の評価対象となります。

評価対象タイプ B :

申請者が希望した場合のみ CRT 試験の評価対象となります。

この変更により、従来は認証対象機器となっていなかった、制御機能を持たないセンサーやデータロガー、レコーダーといった、(1)～(4)の必須機能のすべてをサポートしていない組み込みデバイスについても認証を取得することができます。